

# 実現しよう、住みよいまち日本一 健康田園文化都市、しばた

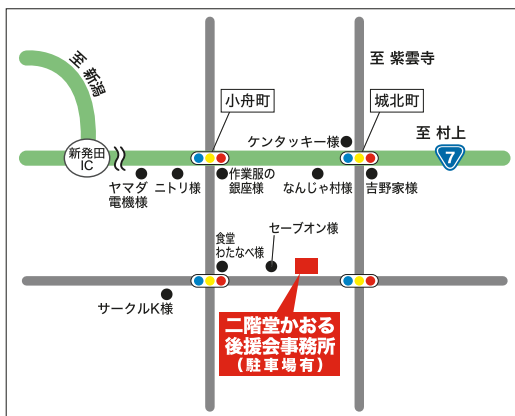
身体は丈夫で長生き、心は穏やかで  
経済的・社会的には安定した暮らし…。

家族のだんらん、地域の人々と温かな絆を感じながら  
笑顔があふれる日々を過ごすこと。

そんな、ささやかな幸せを、当たり前に感じることができる生活…。  
それが二階堂かおるの目指す新発田のまちづくりの基本です。



子供たちのこの笑顔！  
私たちみんなの宝物です



二階堂かおる後援会事務所／  
〒957-0051 新発田市城北町 2-7-1  
TEL.0254-24-2121 FAX.0254-20-8002  
MAIL.nikaido-k@aroma.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.nikaido-k.com>

作成 / 二階堂かおると新発田まちづくり実行プラン作成委員会

# 新発田まちづくり実行プラン

成長戦略で仕事をつくり、  
事業仕分けでムダをなくし、  
収入を増やして  
お金は福祉にまわします！

二階堂かおる



「ふるさとが好き、新発田が好き！  
だから、ふるさとと新発田市民に  
この身を捧げます」

二階堂かおる

## 「二階堂かおる」が目指す市政

**地域独自の伝統が継続・発展してこそ  
「人と人の絆」が結ばれます。**

「城下町しばた」を核としながらも  
各地域には独自の文化・風土があります。  
それは、合併したからといって、  
変えてはいけない大切な、大切な宝物なのです。

地域に根付いた「人と素材を活かす」、  
そして、知恵を出し合い、助け合っていくことこそ  
大合併5年を経た現在の課題であり、  
新たなスタート地点なのです。

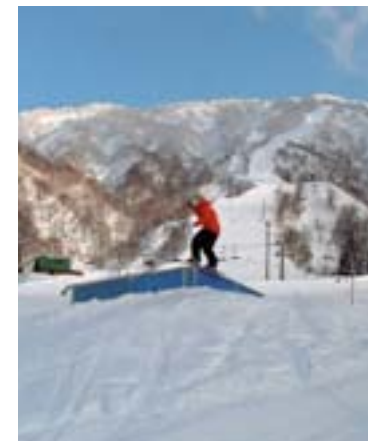


**心・カラダ・経済、  
すべてが「健康」だから「幸せ」なんです。**

まずは個人収入を増やさなければ始まりません。  
ふるさと新発田の活性化・収入増は雇用の確保と  
訪れる人（交流人口）を増やすことがカギです。  
交流人口が増えなければ定住人口は増えません。

そのためのお金は  
「成長戦略」と「市財政の節約」で生み出します。

生み出したお金は「福祉」に回します。



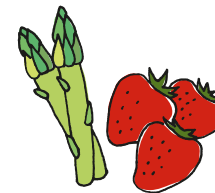


「健康」と「幸せ」のまちづくり。  
政策の6つの柱

# ① 食の循環によるまちづくり

(農産物の第6次産業化 Ⅱ 高付加価値化)

新発田市は  
観光および農業と  
その加工で食べていきます。



## 「食」なくして、 健康と幸せはありません！

- 健康に資する高機能性食品が多い新発田の農産物を、さらに特産化・ブランド化を目指します
- 松塚漁港の活用、温泉熱を利用して農産・花き栽培(園芸)施設などを、民間と共同で開発します
- 雪を利用した農産物や加工品の貯蔵施設の建設・利用の検討に入ります
- 農産物の加工・販売の技術開発を支援します
- 首都圏にアンテナショップを開設し、新発田の食品を売り込みます
- 民間と協力し、漢方薬原料の生産の研究・開発を開始し、「健康」まちづくりの旗印とします



「漢方」は高機能性食品のさらに先にある分野で、  
新発田市の中山間地の高収益農業の確立を目指します

## ② 活気あるまちづくり

(観光振興を核とした産業振興)

よそから人が来なければ、  
活気と収入は増えません！

観光を振興し、交流人口を増やし、  
まちや農漁村・温泉を活性化します

- 月岡温泉・城下町新発田を核に首都圏や中国・台湾・韓国に売り込みます(インバウンド促進)
- 医療検査機関と協力し、健康診断とセットの「健康観光」を商品化し、とくに中国富裕層や台湾・韓国に売り込みます
- 外国人観光客誘致のための外国語教育(中国語・韓国語・英語)・おもてなし対策を実施します
- 旅行業者と積極的に提携し、売れる観光商品を共同で開発・販売します  
(産業観光・スキー・ゴルフ・農業観光・スポーツツーリズム・城下町遺産・台輪&祭り等、モデル観光コースの設定)
- 紫雲寺地区(海)・赤谷地区(山)・城下町地区(歴史)など、各地域の風土・歴史・文化遺産を観光資源として活用します
- インターネット技術や新発田人脈を活用して、広く効果的に観光情報を発信します





③  
4 親子、おじいちゃん・おばあちゃん、  
孫、  
(雇用・仕事)

仕事があって、  
家族みんなが孫子の代まで  
住めるまちにします



仕事がないならば  
暮らせません！

- 企業誘致専門部署をつくり、市長は先頭に立って企業を誘致します
- 女性が働きやすいように「女性支援室」を新設します
- 新発田商工会議所・商工会等と協力し、新起業・転業を応援する組織・補助機能（アドバイザー制度）を新設します
- 企業（異業種）交流を促進し、新発田の物産を首都圏・外国に売り込みます
- 新発田市の商店街を担う青年を支援し、積極的に活性化を図ります
- 市発注の事業は原則、市内業者に発注します





## ④ 健康で笑顔あふれるまちづくり (医療・福祉・教育)

医療・福祉・教育を充実させ、  
ずっと安心・安全な生活を保障します

安心できなければ  
暮らせません!



- 「病気にならない体質改善運動」を継続的・具体的に実施します。また、心の健康検査をふくんだ定期健康診断の普及を研究・推進します
- 新発田特産の高機能性（抗酸化・免疫力強化）農産品を、公共の給食などに取り入れます
- 児童医療費（小学生まで）を無料とします
- 予算は保育施設・特養施設に回し、待機者をゼロにします
- 「放課後子どもプラン」を策定し、子どもたちの居場所づくりを進めます
- 障がい者の自立と地域での暮らしを積極的に支援します
- 住宅に困っている方に借上住宅制度・家賃補助制度を導入し公営住宅待機者をゼロにします
- 青少年から高齢者まで、スポーツ振興・スポーツを通した健康づくりに取り組みます
- 学校耐震化を促進し、コミュニティバスを充実し、あわせて地域乗合タクシーなどを検討します

## ⑤ ムダなお金を使わないまちづくり (行・財政改革)

行政経費を削減し、  
成長戦略・福祉にお金を回します

お金がなければ、  
新事業はできません！



- 市長の報酬を 30% カットします
- 副市長を 1 名、減員します
- 市職員の総人件費を 10% カットする方向で検討に入ります
- 市組織を簡略化し、意思決定のスピードを上げ、情報は公開・共有化します
- 市民・民間・有識者の協力を得て「事業仕分を徹底」し、ムダを排除して真に必要な事業・福祉にお金をまわします
- 市長公用車は廃止し、市の車両は順次エコカーを導入します
- 市の事業は可能な限り、外部に委託します
- 新発田駅橋上化は中止します。ただし、バリアフリー化は積極的に実施し、あわせて東口の利便性を充実させます

## ⑥ だれでも参加できるまちづくり (市民参加・情報公開)

市民や各地域が一体となり  
強い絆(きずな)で  
心の通うまちづくりをします

人まかせでは、  
暮らし良いまちは  
できません！



- 市民・有識者・産学官が参画する市政アドバイス・評価の組織をつくり、情報を公開します
- 各地域の意見を直接お聞きする「移動市長室」を定期的に開きます
- 新発田市の 100 年計画 (長期計画) を策定する委員会を開設し、公開します
- 市職員に民間感覚を持ってもらうため、職員の民間交流制度を新設します
- 市庁舎建設と病院跡地利用については、よりよい進展に向けて、全世帯への市民アンケートを実施し、参考とします
- 市民参画で「まちづくり基本構想・基本計画」を見直します

## ■キーワードの解説

### ①高機能性食品

身体を良好に調節する機能をもつとされる食品のこと。

動脈硬化の防止、血中コレステロールの低下、カルシウムの吸収促進、免疫機能の強化などに役立つと考えられる有効成分を含んでいる食品です。

その有効成分は例えば、ポリフェノール（動脈硬化の防止）などが有名で、新発田特産のアスパラ・越後姫・枝豆・パワーリーフなどには非常に多く含まれている成分です。

また、がん・生活習慣病・老化は活性酸素の過剰が原因の一つと考えられていますが、高機能食品は活性酸素を分解する機能（抗酸化機能）が強いので、がんや生活習慣病の予防に役立つと言われています。

### ②漢方薬

中国伝統医学の一種で、日本で独自に発展した漢方医学の理論に基づいて処方される医薬品のこと。一般的に複数の生薬をあらかじめ組み合わせた方剤をさし、現在、医薬品として認可され、広く使われています。

原料の多くは中国から輸入しています。しかし、近年中国での需要が急速に高まったため原料の輸入が困難となり、価格は高沸し、入手困難なものもあると聞いております。そのためアレルギーやメタボなどの患者さんは困っているとのこと。

経済の「健康」とともに、心身の「健康」を目指す新発田の新しい成長分野として位置づけ、専門機関と提携して、研究・開発します。

### ③インバウンド

外国人旅行者を自国へ誘致することの意。観光庁が外国人観光客3千万人を目指して、強力に推し進めています。主に中国富裕層をターゲットとした「健康観光（医療観光）」はその政策の目玉でもあります。国内需要が落ち込むなか、近隣諸国でニーズが高い、成長分野です。

県内では各地で散発的にインバウンド対策が実施されているものの新発田での取り組みはまだ組織化されているとは言えません。だからこそ、他に後れを取らぬよう早急に取り掛かるべき重要な課題です。温泉やスキー場・ゴルフ場などの観光資源に恵まれた地の利を生かし、医療機関などと協力して、新たな収入源とすべきでしょう。

### ④健康の定義

WHO（世界保健機関）では、健康を以下のように定義していました。

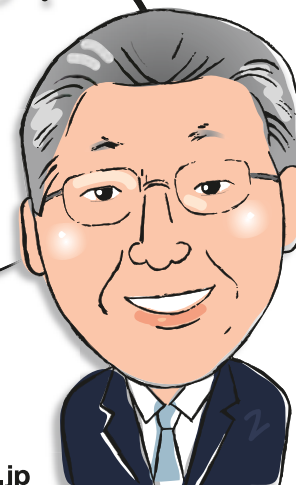
Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.

（健康とは、完全に、身体、精神および社会的によい状態であることを意味し、単に病気でないとか、虚弱でないということではない。）

私は social well-being（社会的によい状態）を実現するには経済的に安定していることが必須だと考えています。つまり、身体・心・経済が健全であって、初めて健康と言えるのではないのでしょうか。

## 節約はまず自分から！

- 市長報酬を30%カットし、市長公用車は廃止します。
- 市職員の総人件費は10%減額の方で検討に入ります。
- 副市長は1名減とします。



二階堂 馨  
(にかいどう・かおる)

■以上が大まかな私の政策プランです。  
皆様からのご意見は大いに歓迎いたします。  
よい案は積極的に取り入れて政策に反映したいと思います。

聞かせて下さい、あなたの声を！

◎ご意見の宛て先  
FAX.0254-20-8002 MAIL.nikaido-k@aroma.ocn.ne.jp

### プロフィール

昭和27年2月15日、新発田市菅谷で生まれる（「角米沢屋」）  
昭和42年◎菅谷中学校卒  
昭和45年◎新発田商工卒  
昭和48年◎拓殖大学政経学部中退  
昭和49年◎新潟調理師専門学校卒・その後割烹魚喜久にて板前修業  
昭和54年◎新発田市議会議員初当選（27歳）・以来当選8回  
昭和63年◎(社)新発田青年会議所第30代理事長就任  
平成3年◎新発田市議会議長初就任・その後計4期（9年）議長職を努める  
家族／妻、子ども2人、愛犬1匹 趣味／日本舞踊、釣り 特技／人の話を聞くこと

### 主な実績

平成4年\*新発田市・豊浦町及び新発田市・聖籠町議員協議会設立（広域合併の推進）  
平成20年\*新発田市中小企業活性化推進基本条例制定（地元企業の育成）  
平成20年\*新発田市議会基本条例制定（議会報告会の開催）（議会改革と活性化）

### 政治信条

- ①市民の皆さんとの対話、議会での議論、行政との情報交換、すべては対話が基本です。
- ②現場目線・市民目線を大切にして、互いの信頼関係にもとづいて、問題点を解決します。
- ③問題点の解決は、現在のみならず、将来のあるべき姿、先見性をもって決断・実行します。